

10 次世代との意見交換会での結果

■参加者：西区内の中学生14名、高校生10名、大学生8名

(中学生、高校生、大学生単位で実施)

■内 容：西区に在住する若者を対象に、西区の良さや課題、地域とのかかわり、まちの将来、具体的アイデアなどについて意見交換を行った。

●主な意見

(1) 振興ビジョン策定に参考となるもの

- 西区だからこそみたいなものが一つあると、それを核にしていける。
- 地域とずっとつながっていたいと思う。それを実現できるのだったら、ぜひ、自分で協力できることがあればしたい。
- 地元には高齢者がたくさんおられ、登校中とかよく「あいさつ」してくれる。その仲の良さがずっと続けばいいと思う。
- その他に、「子どもが増えるといい。」「自然や、地元特有の産業はなくなってほしくない。」「伝統・文化はなくなってほしくない。」「他の県や国の人に訪れてほしい。」などの意見があった。

(2) 若者が考える地域の課題

- 老人ホームの祭に招待され演奏を行ったが、そういう場がないと地域やお年寄りにかかわる機会がない。
- 町や地域・PTA等が催しをされるが、学生が意見を言える感じではない。
- 水遺産とか川、竹林が整備されていない。
- 朝から学校周り、駅前の清掃活動をするが、タバコの吸殻やゴミが散乱している。
- 山に近く駅やバス停まですごく遠い、近くにバス停があればいい。
- 産婦人科にかかりたくとも近くに病院がないので、公共交通機関での移動は揺れてきつい。子どもを産む環境があまり良くない。
- 田舎で近くにコンビニとかない、買い物に不便。
- 道が狭く高齢者が歩くには、大型トラックが通ったりするので危険である。
- その他「熊本駅周辺の賑わいが足りない。」「西区は勤めを探すには難しい。」などの意見があった。

(3) 若者が考える地域の資源

- 熊本港の近くなので、のりとか米とかレンコンとかを栽培している家が多いので、おいしいものを食べることができる。
- 西区は海や山があり、環境的には熊本県全体を考えることができるところ。
- 田崎近辺は、市場や電気屋さんとか娯楽施設などができ、だいぶん賑わっている。
- 中学校の近くには公園がたくさんあり、小さい子どもとかは遊べて、すごくいい。
- 池上はお年寄りの方とかとの交流が多くて、学校から帰ってくる途中にすれ違ったりのしたら、「お帰り」と言ってくれる方も多い。
- 東京に行ったときに、強く感じたのが、熊本はやっぱり住みやすいなということ。特に西区は。自分の住んでいる所が一番落ち着く。
- 「ホタル祭り」など地元のお祭りがすごく盛んで面白い。
- 高橋稲荷の初午は全国から参拝客が来て、ものすごい人出になる。
- 住んでいる翹川の上流は見晴らしもよくて、あまり騒がしくない。ちょっと降りればスーパーもあるしコンビニもあるし「住みやすいね」と言われた。

(4) 具体的な方策・アイデア

①人が交流する仕かけ（ソフト面）

- 学生や地域の人たちも集まれるカフェ（場所）があればいい。

②区対抗スポーツ大会

- 子どもたちが広場で遊べるようにしたいというがあるので、区の代表が出て野球大会をやってみる。

③あいさつ

- 「こんにちは」とかのあいさつを高校生ぐらいになったらしない。ちゃんとあいさつをすれば防犯にもなるのでは。

④人が交流するしかけ（若者の地域活動への参加を促進）

- 小学校のお祭りに毎年ボランティアをしているが、学生に限らず働いていても来てくれる人もいるので、もう少し呼びかけたら、もっと参加してくれると思う。
- 地域活動への協力について、やってもいいなと思うが、忙しいので付きっきりは無理かもしれないが、例えばそういうイベントで行事をするときに、「こんなのはどう？」と意見を言える場があったら、そういうのであれば参加してもいい。
- 学生の立場としては、一緒に行く人、知っている人がいないと参加しにくい。友達同士のつながりを保っているのが、グループで参加するように呼びかけた方が入りやすい。

⑤地域住民皆が集える場所

- 子ども文化会館のようなものを駅の近くに造る。
- 小さい子たちだけじゃないんで、若い人たちにもこっちに來たいなという、イベントとかを増やしていけたらいい。

⑥駅周辺の賑わいづくり

- 駅から見て若者たちが集まると言ったら、やっぱりショッピングモールとか、そんなところだと思うので、駅から出てすぐ目に付く所に、若者の人たちの興味を引くような建物があればいいと思う。

⑦地域で支えあう仕組みをつくる

- 交通の便を公共で補うのは難しいにしても、せめて、自治会内に2台ぐらいマイクロバスのようなものがあって、使いたいときに家々を回り病院まで連れていってくれるような、その車をみんなで使うということにすると、地域のつながりもできると思う。
- やっぱり身近なことからどんどん始めていくために、僕たちから始めたいと思う。草取りとか。ゴミ拾いなど。

⑧広報活動

- 皆があまり知らない情報をフリーペーパーなどで紹介していければ、見に行きたいという人が増え、来る人も増えると思う。それを高校生でやってみるというのもいいのではないかな。一度、高校生で上通の商店街の紹介をフリーペーパーで実際に出したこともある。
- ミカンの花見学ツアーとか、その辺りをうまく広げていけば、ファンが増えると思う。